



No.83

令和8年10月27日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report

佐分利小学校



関連記事 P20

Contents



議会だよりの
バックナンバーは
こちらから

特集	令和7年度決算を認定	2
定例会議	条例改正・補正予算などを審議	8
活動報告	中央要望/委員会視察研修	12
委員会代表質問	「公共ライドシェアが必要！」など2委員会	15
一般質問	「乾式貯蔵施設の了解判断は」など2人登壇	17

※一般質問の動画配信はこちらからご覧いただけます。→



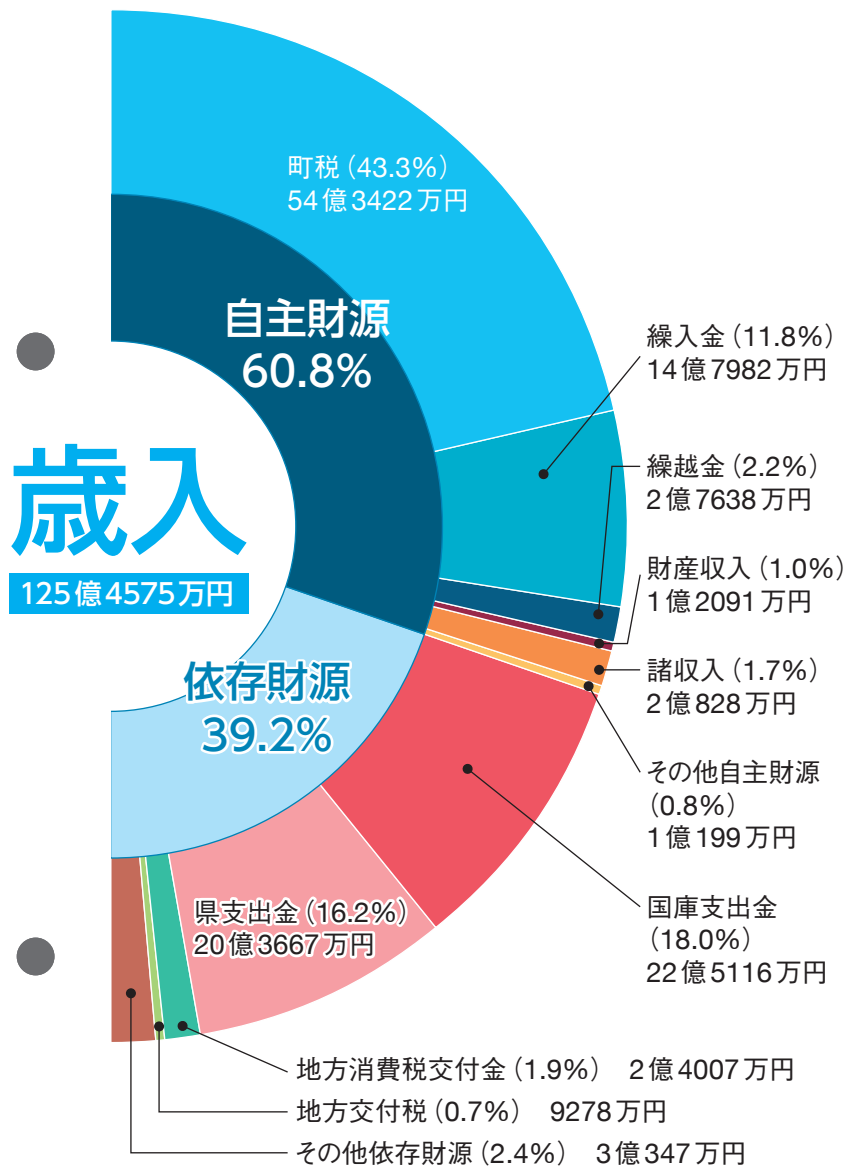
追跡	本郷地区内の冠水対策	19
----	------------	----

決算を認定

特集

審議を行い、町財政の健全性を確認しました。

歳入 125億4575万円



指標

財政力指数……1・16%

基準となる収入額を支出額で割った数値。過去3年間の平均値を示す。1・00を上回れば財源に余裕があるといえる。

歳入

自主財源……60・8%

町が自らの権限に基づいて自主的に徴収できる財源

依存財源……39・2%

国庫の基準などに基づき交付・割当てられる財源

【数値について】

※金額は万円単位で表しているため合計と一致しない場合があります。

※（ ）内は構成比率です。

※円グラフ、表の金額および率は、各項目で四捨五入しているため合計があわない場合があります。

■財源のうち主な原発関連収入
(歳入全体の57.7%)

項目	金額
町税	44億8047万円
国庫支出金	13億8212万円
県支出金	13億7825万円
合計	72億4085万円

特別会計

(単位：万円)

区分	歳入			歳出			純計額 歳入歳出 差引額
	総額	他会計繰入金	純計額	総額	他会計繰出金	純計額	
後期高齢者医療	12,951	2,913	10,038	12,923	0	12,923	△2,885
国民健康保険	84,580	6,247	78,333	84,537	0	84,537	△6,204
国民健康保険診療	8,375	739	7,636	8,375	0	8,375	△739
介護保険	100,482	17,587	82,895	99,855	0	99,855	△16,960
介護サービス	720	398	322	720	0	720	△398
合計	207,108	27,884	179,224	206,410	0	206,410	△27,186

公営企業会計

区 分	収 入	支 出	差引額	
簡易水道事業	収益の収支	42,821	40,266	2,555
	資本の収支	12,673	12,356	317
下 水 道 事 業	収益の収支	50,623	49,332	1,291
	資本の収支	24,006	24,935	△929

(単位：万円)

9月定例会議

令和7年度

特集

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡

一般会計

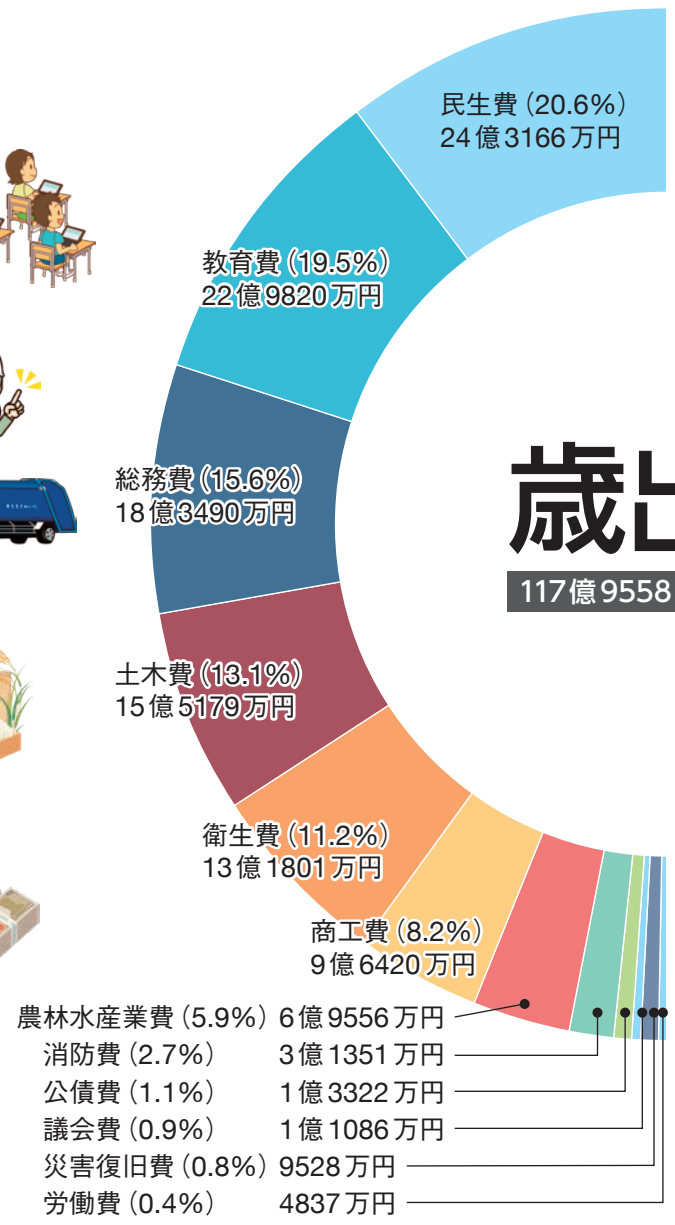
9月8日から9日にかけて予算決算常任委員会で

町民一人当たりの歳出決算額

歳出 117億9558万円

(令和8年3月末の人口7,575人で算出)

民生費	32万1011円	
各種福祉事業を行うためのお金		
教育費	30万3393円	
学校教育や社会教育などに使うためのお金		
総務費	24万2231円	
地域振興や一般事務に使うためのお金		
土木費	20万4857円	
道路やまちづくりなどに使うためのお金		
衛生費	17万3995円	
町民の健康管理やごみ処理に使うためのお金		
商工費	12万7287円	
観光や商工業の振興に使うためのお金		
農林水産業費	9万1823円	
農業や林業の振興に使うためのお金		
消防費	4万1387円	
消防施設や消防団運営に使うためのお金		
公債費	1万7587円	
町の負債の元金や利子の返済に使うためのお金		
議会費	1万4635円	
町議会の運営を行うためのお金		
その他	1万8964円	
合計	155万7170円	



監査委員から提出された意見書より抜粋

人口減少や少子高齢化の進行に伴う財政需要の変化、公共施設の老朽化への対応、物価や人件費の上昇などにより、今後の財政運営を取り巻く環境は一層厳しさを増すものと考えられます。また、昨年の渇水のほか、近年の猛暑や豪雨、地震などの自然災害が頻発・激甚化しており、町民の安全、安心を確保するため、防災・減災対策や災害に強いまちづくりへの取り組みが一層重要となっています。

令和7年度決算から見る本町の財政状況は一定の健全性を保っているものの、将来にわたり持続可能な財政運営を確保するためには、財政需要の変化を的確に捉えながら、事務事業の見直

しや行政サービスの効率化を進めるとともに、災害対応力の強化や公共施設等の計画的な維持管理、デジタル化の推進など、多様化・複雑化する行政課題に的確に対応していくことが求められます。

簡易水道事業の料金回収率は55.37%、下水道事業の経費回収率は63.86%にとどまっており、料金・使用料収入のみでは事業に要する費用を十分に賄っていない状況にあります。今後は人口減少や給水原価・汚水処理原価の上昇などにより、さらなる料金・経費回収率の低下が見込まれるため、単年度の収支状況だけで経営の健全性を判断することなく、中長期的な視点に立った経営分析と財政基盤の確立が重要となります。

このように使われました

子育て応援

●にこにこ赤ちゃん応援事業

503万円

伴走型の相談支援と併せ、妊娠届時と出産届出後に5万円の現金支給などの助成を実施

●子育て世代包括支援センター運営事業

453万3千円

子育て家庭や妊産婦に対し、支援事業の情報提供および総合的相談支援を実施

●児童手当支給事業

1億7534万1千円

18歳年齢までの児童を対象に、年6回の支給

●認定こども園運営委託事業

3億8112万3千円

大飯地区3認定こども園

●名田庄こども園運営事業

4905万5千円

●子どもの遊び場整備事業

8405万3千円

●こども家族館管理運営事業

1億6346万9千円

こども家族館は県の施設で、町が指定管理者として維持管理費用を負担し運営

問こども家族館の決算額の、大幅増額の理由は

答人件費増や消耗品費の高騰と、スケートパーク管理棟建設費などによる増額

●子育て支援医療費助成事業

3019万円

子どもの健やかな成長と保護者の医療費負担の軽減

●物価高対応子育て応援手当給付事業

2552万1千円

●進学サポート事業

4405万7千円

就学意欲のある若者の未来を応援するため、国内の大学などに在学する学生を扶養する保護者への経済的支援を実施

前期支給:185人 後期支給:185人

●学校ICT教育推進事業

6012万7千円

ICT機器(タブレット端末・校内無線LANなど)を活用し、情報教育と情報モラルの指導を図る

また、学習支援ソフトを導入し学習意欲や学習理解の向上を図る

●高等学校等通学費支援事業

798万8千円

通学に要する経費の一部を助成

問学校寄宿舎などの生徒への支援はどのようになっているのか

答通学費の助成は行っているが、下宿や寮に関する支援は実施していない

●入学等応援事業

1213万1千円

児童および生徒の入学、卒業に対して家庭の負担軽減と児童などの健全な育成支援の給付金

小学校入学時3万円 R7:62人 R8:56人

中学校入学時5万円 R7:71人 R8:81人

中学校卒業時7万円 R7:91人 R8:91人

●町費負担教員配置事業

7576万6千円

児童・生徒の個々にあった、きめ細やかな指導および気がかりな児童生徒に寄り添い、行き届いた生活・学習支援を実施(16名配置)

●給食センター事業

1億1134万8千円

児童生徒の健康増進・体力向上のため、栄養バランスのとれた給食を提供(195回/年)

令和7年度 町の予算は主に

特集

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡

安全安心

●防災対策事業

1億335万4千円

- ・防犯監視カメラ2カ所設置
(こども家族館・名田庄大滝)
- ・自主防災組織率48組織(76.2%)
- ・避難所の環境整備のための資材購入

ワンタッチ式パーテーション	51張
簡易ベッド	51台
循環式手洗機	2台
簡易トイレ	4台
簡易トイレ用テント	26張
防災倉庫更新(やまびこ会館)	1カ所

問 自主防災組織数は増えているが、防災組織に求める役割が伝わっていないのでは

答 研修会などを通じてアドバイスをを行っているが、今後は、活動が活発化するよう努める

●交通対策事業

979万6千円

- ・交通安全教室の開催、交通安全施設などの整備
- ・運転免許自主返納など支援

実績:支援決定者	34人
デマンドバス延べ利用者	5,734人
タクシー券利用枚数	535枚



簡易トイレ

●居宅介護サービス給付事業

2億2786万1千円

●地域密着型介護サービス給付事業

2億276万6千円

●施設介護サービス給付事業

3億9139万8千円

●介護予防・生活支援サービス事業

956万4千円

●認知症総合支援事業

446万7千円

●介護予防支援事業

228万8千円



ワンタッチ式パーテーション・簡易ベッド



循環式手洗機

●バス対策事業

1億3204万5千円

路線バス運行経費の助成や、大飯・名田庄地域のデマンドバスの運行による交通体系の充実

デマンドバスは高浜病院や小浜市谷口バス停への運行範囲を拡大

このように使われました

農林水産

農業

● 渇水対策事業

711万2千円

夏期の少雨に伴う水稻への渇水対策として、補給水ポンプへの補助などを実施

問 昨年度の渇水状況を受け、今後の計画は

答 今年度は、長井区、小堀区で地下水調査を行うが、利水計画を含め全体的な見直しが必要

● がんばれ特産産地小さな農業応援事業

205万7千円

園芸への新たなチャレンジに対し、梅栽培に係るラジコン草刈機購入などへ補助



佐分利川の渇水対策



木材運搬の様子

林業

● 森林整備地域活動支援交付金事業

913万5千円

所有者などによる境界確認およびGPS測量により、森林境界情報の保全を実施

実績: 210.41ヘクタール 3地区 久保区、父子区、名田庄納田終区

● 町行分収造林事業

421万7千円

森林整備を行うため、皆伐、木材運搬、素材販売を実施

実績: 間伐4ヘクタール 名田庄奥坂本地係

水産業

● 藻場造成事業

1551万円

成魚の産卵場や稚魚の成育場所となるアマモ場の造成を実施

実績: 600ヘクタール

● 漁家経営構造改善事業

2605万8千円

漁協組合員の、漁船の動力機器導入への支援

実績: 環境高度対応型エンジン3件、LED式集魚灯など3件



更新したLED式集魚灯

上下水道



漏水修繕の様子

● 簡易水道事業

9383万4千円

・建設改良事業

給水体制の安定的確保のため、送水ポンプ、減圧弁など配水施設整備を実施

● 下水道事業

・建設改良事業

1億4913万6千円

各処理施設の機器更新や汚水処理槽の防食工事などを実施

令和7年度 町の予算は主に

特集

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡

商工 観光

●商工管理事業

1億3075万7千円

- ・生活応援消費拡大対策として、うみりんカードのキャンペーンを2回、プレミアム商品券を発行

●観光振興対策事業

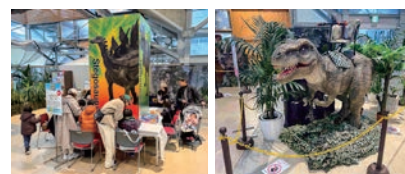
1億1309万7千円

- ・地域活性化イベント（大火勢、星のフィエスタ、うみんぴあフェスタ）への補助など
- ・観光案内看板をインバウンド対応の外国語に変更
- ・インバウンド事業として、観光協会と合同で、台湾淡水区の環境芸術祭に参加

●うみんぴあ大飯事業

3億8567万7千円

- ・うみんぴあエリアの活性化に向け、冬季賑わいイベントの開催や、ポケモンマンホールを設置



冬季賑わいイベントの様子



オープン3周年記念イベントの様子

●SEE SEA PARK 管理運営事業

3424万2千円

- ・チャレンジショップの管理運営
- ・オープン3周年記念イベントなどの実施

土木 建設



河村地区防波堤



本郷岡田線の舗装

●排水路管理事業

6453万4千円

- ・名田庄虫鹿野地区などで排水路整備工事、本郷14区排水ポンプ場のポンプ更新、尾内地区の排水改善対策基本設計業務などを実施

問 尾内地区の排水改善対策基本設計業務の結果を受け、今後の取り組みは

答 尾内川の流下能力は5年確率の降雨に対応できないため、仮設ポンプで佐分利川へ排出する計画

●漁港施設整備事業

2225万4千円

- ・強風、波浪時に係留船舶を守るため、大島河村地区で防波堤工事を実施

●道路維持補修事業

2億8449万9千円

- ・老朽化した町道路線を維持補修するため、小堀・高森トンネル照明設備更新、名田庄三重地系の消雪装置整備、本郷岡田線の舗装工事などを実施

令和8年9月定例会議 議案審議結果

議案番号	件 名	付託・審議	議決結果	参照先
報告第11号	専決処分の報告について（工事請負変更契約の締結について（おおい町総合運動公園合宿施設（宿泊棟）建設工事））	—	承認	P9
報告第12号	令和7年度決算に基づくおおい町健全化判断比率の報告について	—	承認	
報告第13号	令和7年度決算に基づくおおい町資金不足比率の報告について	—	承認	
認定第1号	令和7年度おおい町一般会計及び5特別会計歳入歳出決算の認定について	〈予算〉	認定	
議案第43号	令和7年度おおい町簡易水道事業会計及びおおい町下水道事業会計の決算の認定及び剰余金の処分について		原案可決	
議案第44号	おおい町住民の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	
議案第45号	おおい町町税条例の一部改正について		原案可決	
議案第46号	おおい町はまかぜ交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について		原案可決	
議案第47号	おおい町子育て支援医療費助成に関する条例等の一部改正について		原案可決	
議案第48号	おおい町簡易水道事業の設置等に関する条例及びおおい町下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	〈産建〉	原案可決	P10
議案第49号	令和8年度おおい町一般会計補正予算（第3号）	〈予算〉	原案可決	
議案第50号	令和8年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第51号	令和8年度おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		原案可決	
議案第52号	令和8年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第2号）		原案可決	
議案第53号	令和8年度おおい町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第54号	令和8年度おおい町簡易水道事業会計補正予算（第2号）		原案可決	
議案第55号	令和8年度おおい町下水道事業会計補正予算（第2号）		原案可決	
議案第56号	工事請負契約の締結について（急傾斜地崩壊対策工事（河村（狭間）地区））	〈産建〉	原案可決	P11
議案第57号	工事請負契約の締結について（総合運動公園合宿施設外構等整備工事）	〈総務〉	原案可決	
議案第58号	工事請負変更契約の締結について（保健・医療・福祉総合施設 空調・給湯・照明設備等改修工事）		原案可決	
議案第59号	工事請負変更契約の締結について（漁港施設整備工事（河村防波堤））	〈産建〉	原案可決	
議案第60号	工事請負変更契約の締結について（おおい町総合運動公園合宿施設（研修棟）建設工事）	〈総務〉	原案可決	
議案第61号	動産の取得について（地域情報配信システム戸別端末）	—	原案可決	
議案第62号	動産の取得について（図書館情報管理システム機器）	〈総務〉	原案可決	
議案第63号	工事請負契約の締結について（トンネル照明設備更新工事（長井トンネル））	〈産建〉	原案可決	
議案第64号	工事請負契約の締結について（道路改良工事（本郷野尻線外1路線））		原案可決	
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	承認	
—	議員派遣報告および議員派遣	—	報告および派遣	

賛否が分かれた議案

	寺井	高本	中西	屋敷	田中	堤	細川	原田	辻	尾谷	猿橋啓	今川	猿橋巧
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●

○は賛成、●は反対、除は除斥、退は退席、欠は欠席（原田議長は採決に加わらない）

特集

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡

9月定例会議

令和8年9月3日（18日）

審議内容

9月定例会議に付議された、報告3件、認定1件、議案22件、諮問1件を審査した。

報告事項

専決処分などを承認

●報告11号

専決処分の報告について（工事請負変更契約の締結について（おい町総合運動公園合宿施設（宿泊棟）建設工事））

外構工事での施工を予定していた土間の仕上げと目隠しフェンスについて、本工事において一体的に施工することとしたほか、関連する諸工事の増減などに伴うもの。

・変更契約金額

85万円

・変更後契約金額

8億4311万3千円

・契約の相手方
株式会社 時岡組

【全会一致・承認】

●報告12号

令和7年度決算に基づくおい町健全化判断比率の報告について

実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率は、いずれも早期健全化基準を下回り良好な状態である。

【全会一致・承認】

●報告13号

令和7年度決算に基づくおい町資金不足比率の報告について

公営企業会計において資金不足比率は算定されず、いずれも経営健全化基準の20%を下回り良好な状態である。

【全会一致・承認】

決算認定、議案審議

令和7年度決算認定および剰余金の処分を可決

●認定1号（予算）

令和7年度おい町一般会計及び5特別会計歳入歳出決算の認定について
一般会計および5特別会計の決算について、地方自治法第233条第3項の規定に基づき議会の認定を求めるもの。

討論

○反対 猿橋 巧議員
原子力予算に依存した財政運営や原子力推進PRへの多額の支出は問題である。また、町税などの未納額の増加や、費用対効果に疑問がある事業など、改善の必要があるため反対する。

【賛成多数・認定】

●議案43号（予算）

令和7年度おい町簡易水道事業会計及びおい町下水道事業会計の決算の認定及び剰余金の処分について

公営企業会計の決算および剰余金の処分について、地方公営企業法第30条第4項および地方公営企業法第32条第2項の規定に基づき議会の認定および議決を求めるもの。

【全会一致・可決】

条例の一部改正を可決

●議案44号（総務）

おい町住民の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について
非漢字圏の外国人住民の定義が変更されたことに伴い、引用箇所の修正を行うもの。

【全会一致・可決】

●議案45号（総務）

おい町町税条例の一部改正について

【主な変更内容】

・個人町民税の住宅ローン特別控除について、居住開始に係る適用期限を令和12年まで延長するもの。
・個人町民税の課税所得である特定暗号資産の所得区分を分離課税所得とし、税率の設定や損益通算を可能にするもの。

主な質疑

問 ビットコインなどの特定暗号資産の課税方式が見直されるとのことだが、損失が出た場合はどうなるのか。

答

国内登録事業者で取引される特定暗号資産損失の場合、分離課税となり、損失を3年間繰越して計上することができる。

【全会一致・可決】

●議案46号（総務）

おい町はまかせ交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

貸館できる部屋を追加することに伴い、所要の改正を行うもの。

【全会一致・可決】



新たに貸館となる交流室

●議案47号（総務）

おい町子育て支援医療費助成に関する条例等の一部改正について

社会保険診療報酬支払基金が医療情報基盤・診療報酬審査支払機構へと名称変更されるため、引用箇所の改正を行うもの。

【全会一致・可決】

●議案48号〈産建〉

おい町簡易水道事業の設置等に関する条例及びおい町下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

法律の一部改正に伴い、引用条文の番号ずれを改正するもの。

【全会一致・可決】

補正予算を可決

●議案49号〈予算〉

令和8年度おい町一般会計補正予算（第3号）

6300万2千円増額

【主な歳出内容】

○食のまちづくり推進事業

501万円増額

○県単土地改良事業

1570万円増額

○若州一滴文庫管理事業

4026万円増額

○研修交流施設管理運営事業

1000万円増額

主な質疑

問 食のまちづくり推進事業の目的として「食を通じたもつかる

1次産業の育成」と掲げているが、生産者の高齢化や担い手不足などの課題解決に結び付くのか。

答 生産者の高齢化や担い手不足はこの分野に限らず、これまでから町が抱えている課題であり、こうした課題解決を直接的に行うだけでなく、食に関わるさまざまな人との交流や仲間同士のネットワークを広げていくこととしている。

【全会一致・可決】

●議案50号〈予算〉

令和8年度おい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

27万8千円増額

【全会一致・可決】

●議案51号〈予算〉

令和8年度おい町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

95万5千円増額

【全会一致・可決】

●議案52号〈予算〉

令和8年度おい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第2号）

240万8千円減額

【全会一致・可決】

●議案53号〈予算〉

令和8年度おい町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

534万1千円増額

【全会一致・可決】

●議案54号〈予算〉

令和8年度おい町簡易水道事業会計補正予算（第2号）

980万3千円減額

【全会一致・可決】

●議案55号〈予算〉

令和8年度おい町下水道事業会計補正予算（第2号）

63万2千円減額

主な質疑

問 下水道事業のマンホール周辺舗装の沈下による復旧工事箇所は、どのように選定されたのか。

答 除雪業者から危険な箇所を聞き取り、現地確認を行ったうえで選定した。

【全会一致・可決】



マンホール周辺の沈下

工事請負（変更）契約を可決

●議案56号〈産建〉

工事請負契約の締結について（急傾斜地崩壊対策工事（河村（狭間）地区）急傾斜地崩壊危険区域の大島地係の河村地区において、崩壊土砂防護柵91mを施工するもの。

・契約金額

7449万680円

・契約の相手方

株式会社 時岡組

主な質疑

問 全体事業の完成が、令和9年度以降となっているが、県からの予算確保ができなかった場合はどうするか。

答 令和9年度事業分の予算ヒアリングに向け、必要額を要望している。

【全会一致・可決】

●議案57号〈総務〉

工事請負契約の締結について（総合運動公園合宿施設外構等整備工事）

合宿施設敷地内の外構整備、多目的グラウンド海側駐車場の整備、多目的グラウンドフェンスの更新などを行うもの。

・契約金額

1億2669万2643円

・契約の相手方

株式会社 荒木

主な質疑

問 体育館側からターゲットゴルフ場に整備される駐車場への進入路は整備しないのか。

答 検討はしているが、現在の設計には反映されていないため、調整したい。

【全会一致・可決】

No.83

「新たな青戸大橋を」 中央要望を実施

原子力発電所が立地するおおい町には特有の課題があります。

特に原子力災害が発災した場合、避難経路の多重化や既存インフラの強化が重要です。

今回の中央要望では「新たな青戸大橋の建設」について強く要望活動を行いました。

【期 日】

令和8年8月31日～9月1日

【要望者】

議長	原田 和美
副議長	堤 満也
総務常任委員長	田中 秀樹
産業建設常任委員長	尾谷 和枝
予算決算常任委員長	寺井 義孝
原子力発電対策特別委員長	高本 和良
議会運営委員長	細川 正博

【要望先】

・ 山崎正昭	参議院議員
・ 滝波宏文	参議院議員
・ 稲田朋美	衆議院議員
・ 今 洋佑	衆議院議員
・ 経済産業省	井野副大臣

・ 厚生労働省 栗原大臣政務官

【要望内容】

一・原子力政策の充実

・ 原子力発電所立地の地域振興について

・ 電源三法交付金の制度改正について

・ 「廃炉交付金」に代わる新たな制度の確立について

・ 核燃料サイクルの早期確立と国民理解について

・ 電力需要と確保への取り組みについて

立地地域の実情に応じた経済振興や雇用確保。廃炉交付金は廃炉決定から10年間となっており、30年以上かかると言われている廃炉作業期間においては交付金が必要である。電源三法交付金を地域の実情に応じて柔軟に活用できるための制度改革。

最終処分などのバックエンド問題の解決に向けた国民理解。将来必要な電力量の具体的で正確性のある算定を求めました。

新たな青戸大橋の建設を！

二・原子力制圧・避難と、生命・生活道路網の早期整備

活道路網の早期整備

・ 原子力災害制圧や避難道確保のための橋梁新設について

・ 一般県道岡田深谷線の通行不能区間の早期開通について

・ 舞鶴若狹自動車道の4車線化について

・ 主要地方道小浜綾部線の早期改良整備促進について

滝波参議院議員



山崎参議院議員秘書



建設から50年以上が経過した青戸の大橋に代わる橋梁の建設について、経済産業省井野副大臣に強く要請をしました。橋などのインフラ整備に関する事項は国土交通省の管轄となりますが、エネルギー政策に協力しているおおい町に特段の配慮をしてもらうためにも、経済産業省にこの課題を共有してもらう必要があると判断しました。

井野副大臣からは「避難道などの多重化は必要であり、国土交通省や内閣府とも連携していく必要がある」旨の発言がありました。

また、岡田深谷線早期開通への財源確保。早期に舞若道4車線化。小浜綾部線の早期完成に向けた財源確保を求めました。



経済産業省 井野副大臣

三、地方自治体の持続可能性への支援策

- ・地域医療の支援体制強化について
- ・全国一律の現物給付方式による医療費助成制度について
- ・農林水産業の生産基盤維持のための財政支援について

- ・北陸新幹線小浜・京都ルートの日も早い着工について
- ・大学や企業の地方移転促進について

人口減少が進む中、全国の自治体で課題となっている医療人材不足の解消や地域医療の安定に向けた財政支援。

各自治体が独自で行っている医療助成は、県外では立て替え払いが必要となることから、全国一律の医療助成制度の創設。

この2点について、今回初めて厚生労働省に要請を行いました。

その他、農林水産業に係る生産資機材の高騰および燃料の高騰に対する支援策、適正な価格形成に向けた環境整備。大学や企業の地方分散を国家戦略として推進していくことを要請しました。

北陸新幹線については、ルートが決定したこともあり、一日も早く工事が着工されるよう、自民党整備新幹線等鉄道調査会長である稲田衆議院議員に要請しました。

また、今衆議院議員からは新たな青戸大橋についてライフワークにしたいと力強い言葉をいただきました。



厚生労働省 栗原大臣政務官



稲田衆議院議員



今衆議院議員

一次産業の活性化に向けて

産業建設常任委員会

【期 日】

令和8年8月17日～18日

【場 所】

- ・ジビエアトリエ加賀の國（石川県）
- ・のろしファーム（富山県）
- ・梅香園 観光農園うめかのお庭（富山県）

【参加者】 委員 7名

産業建設常任委員会では町の産業振興に向けて、町に政策提言するために調査研究を行っています。今回の研修は、おい町の課題となっています。獣害対策や農業振興にむけた調査研究のため、それぞれの課題に向き合い、成果を上げている先進地に出向き、提言の一助となるよう研修を行いました。

【ジビエアトリエ加賀の國】

この施設は小松市、加賀市、能美市、川北町の4つの自治体が出資し、民間事業者が委託管理を受けてイノシシを中心に食肉加工して販売しています。豚熱によるイノシシの減少や、食肉用の新鮮なイノシシの調達に課題があると説明を受けました。

【のろしファーム】

この会社では自然栽培による天日干し米を販売しています。令和7年は白米5kg8,040円で販売しており、需要はあったと説明を受けました。すごいと率直に感じました。

【梅香園 観光農園うめかのお庭】

この会社は稲作だけでなく、果樹や生花の栽培を行い、カフェも経営されています。カフェの一押し商品は桃をふんだんに使用したパフェで、視察に訪れた日もカフェは満員で、県外からも多数のお客さんが来ると説明を受けました。



ジビエアトリエ



のろしファーム



梅香園

町独自の施策が必要！

総務常任委員会

【期 日】

令和8年7月28日～29日

【場 所】

①長泉町役場（静岡県
なかいずみちよう
よこせまち）

②横瀬町役場（埼玉県
よこせまち）

【参加者】 委員 7名

【長泉町役場】

移住・定住施策の取り組み

長泉町の特筆すべき特徴は、静岡県内で住み心地ランキング7年連続1位に輝き、さらに県内唯一の消滅しない自治体にも選ばれています。

また、大手企業の誘致や県立静岡がんセンターを核とした、医療や健康関連企業が集積していることから先端医療産業の拠点として発展しています。

今回の研修では、本町も独自の強みを持つことが、若者や子育て世帯から選ばれることになると感じました。



長泉町



横瀬町

【横瀬町役場】

官民連携による地域活性化の取り組み

横瀬町は埼玉県秩父郡に所属する小さな町で人口は約7,400人と本町とほぼ同じです。今回「よこらぼ」という官民連携による先進事例を研修しました。

「よこらぼ」とは、町内での創業や新規事業の創出を目的とし、2016年に横瀬町が「日本一チャレンジする町」を掲げて設立されたものです。特徴としては、次のことが挙げられます。

- ・行政が実証実験の場を提供する
- ・応募～採用までのスピードが速い
- ・町民、企業、行政が対等な立場
- ・失敗を許容し、挑戦を評価する文化がある

成果として、170件以上のプロジェクトが採択され、この取り組みの結果、2025年度は12年ぶりに「転入超過」となりました。

今回の研修では、失敗することを恐れて無難な政策を選択することよりもリスクを覚悟の上で、新たなことに挑戦していくことが、結果的に住民の福祉向上をもたらすと感じました。

淡水区と更なる交流の促進へ！

台湾友好交流促進特別委員会

【期 日】

令和8年7月9日～10日

【場 所】

①浜松市役所（静岡県）

②公益財団法人日本台湾交流協会

東京本部（東京都）

③台北駐日経済文化代表処（東京都）

【参加者】 委員 6名

多くの知見を得るため、友好交流の先進地である浜松市役所などを訪問いたしました。

【浜松市役所】

産業部観光・シティプロモーション課長の吉田佐織氏に、浜松市と台湾との交流について伺いました。

2003年に観光から始まり、音楽・産業分野やスポーツへと広がった。教育旅行はお互いホームステイで行っている。

また、現在は台北に窓口を開設し、活動の強化をしていると説明を受けました。

【日本台湾交流協会東京本部】

貿易経済部長の古田清史氏と総務部長の田中麻美子氏に対応していただきました。日本と台湾との貿易の状況や人的交流について話をお聞きしました。

台湾でおい町を知ってもらうには、インフルエンサーを呼んで、発信する方法が良いのではないかと、若い人の交流が必要とのアドバイスをいただきました。

【台北駐日経済文化代表処】

政務部二等秘書周子丹氏に対応いただき、交流促進のアドバイスをいただきました。

祭りを通じて交流や文化交流は大変良い。また、議会交流もあってもいいと説明を受けました。





動画はこちら

公共ライドシェアが必要！

町長 誰もが安心して移動できる交通体系に
取り組む

はない。

問 協力団体の組織を
整える後押しを、
どのように考えているの
か。

答 (町長) 実現には
「共助の精神」が
必要で、公共ライドシェ
アを全面的に推進する考
えでいる。財政的支援・
実務のサポート・運営の
仕組みづくりの全方向か
ら支える体制を構築し、
誰もが安心して移動でき
る交通体系の確立に向け
て取り組む。



質問者 委員長
たなか ひでき
田中 秀樹

問 現在のデマンドバ
スは一部拡充され
たが、小浜病院への拡充や
土日祝運行、運行時間の延
長が解決できていない。

答 (町長) バスなど
の公共交通機関だ
けでは住民の移動ニーズ
を満たすことが困難で、
地域における交通機関と
して協力団体を募集して
いるが、現時点での応募

問 有償ボランティア
の運転手が確保で
き、行政の後押しがあれ
ば組織の発足は可能であ
り、運転手などの市町
で事例がある任用職員で

は、現時点での応募



デマンドバス

不妊治療の受診促進

問 不妊治療の受診を
促進する考えはな
いか。

答 (すこやか健康課長)
経済的負担軽減を
図ってきたが、安心して
治療に取り組んでもらえ
る相談体制に努める。

問 不妊治療費助成数
は潜在的な方々を
すくい上げてない。申請
や相談のしやすい制度設
計が必要。

答 (すこやか健康課長)
「ふくいプレ妊活
健診」などを積極的に活
用できるように、ホーム
ページなどで周知し受診
を勧めていく。また、町
や県は助産師による相談
事業も実施しているの
で併せて周知し、気軽に相
談できる工夫をしていく。

問 通院交通費の助成
制度の創設をすべ
き。

答 (すこやか健康課長)
通院交通費につい
ては、支援策を検討する。

若者の町外流出 防止策

問 進学サポート給付
金受給者の子ども
たちに、地元就職への更
なる促しが必要ではな
いか。

答 (副町長) 関係課
と連携し卒業生の
将来的な地元就職やU
ターンにつながる効果的
な情報発信に努める。

問 20歳〜24歳代の人
口の落ち込みに対
する対策は。

答 (まちづくり課長)
「若者のふるさと
就職応援制度」の制度設
計を行っており、卒業後
地元企業や事業所への就
職者に対し、ふるさとで
の就職を直接的に支援で
きる制度の構築に取り組
む。

問 地元就職の促しに
ついて町長の考え
は。

答 (町長) しごとみ
らい産業団地や県
営の産業団地は、嶺南地
域全体での雇用機会が拡
大し、通勤圏内である本
町への定住につながる。
地元で暮らす実質的な豊
かさや安心感、子育て支
援の充実など、本町で暮
らす価値をしっかりと発
信し、若者におおい町で
暮らしたいと思ってもら
える町づくりに取り組む。



(株)TVE建設の様子

特集

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡

委員会代表質問

台湾友好交流促進特別委員会



動画はこちら

交流の橋渡しし役が必要

町長

本町にとって効果的な人材活用を検討していく

予定事業計画は。

委員長
ひろみち 浩道

質問者
やしき 敷 屋敷



問 これまでの淡水区との交流の成果と、今後の発展は。

答 (町長) 令和5年の友好交流都市覚書締結以降、相互訪問や文化・観光分野での交流を重ね、双方の信頼関係や交流の基盤づくりを進めてきた。今後も、水上勉氏と若州一滴文庫の縁を基軸に、交流の輪を一步步ずつ広げていきたい。

問 覚書には多岐にわたる交流が示されているが、来年度の交流

答 (副町長) 幅広い分野での交流が理想だが、職員数や事務量などを考慮すると、事業をある程度絞る必要がある。今後実情を踏まえて計画を立て、着実に交流を進めていく。

問 交流の橋渡し役となる人材が必要。

答 (町長) 人材の確保は重要な視点と認識している。地域おこし協力隊やワーキングホリデーなどの制度を精査し、県との連携も視野に入れながら、本町にとって効果的な人材活用を検討していく。



一滴水記念館

問 各課の横のつながりを強化し、淡水区との交流に特化したチームの創成を提案する。

答 (副町長) 関係課の連携は必要と認識している。交流に特化したチームの設置も一つの手法だが、当面は必要に応じて関係課が連携し、対応していく。

民間主体の交流の仕組みづくりが必要

問 民間が中心となった組織活動が必要。(まちづくり課長)

答 継続的な交流には、民間主体の取り組みが重要である。町は情報提供や相手先との調整などを支援し、民間交流が広がる環境づくりを進めていく。

スポーツ、教育、文化交流を提案

問 スポーツでの交流として、新しい合宿施設の開館記念に淡水区から各競技の選手を招待し、町民とのスポーツ交流を提案する。

答 (教育長) 選手の招待には、引率や費用面などの課題がある。まずは淡水区のスーツ関係団体との関係を深め、新たな合宿施設

を活用した台湾からの合宿や教育旅行の誘致につなげていきたい。

問 教育での交流として、オンラインを活用した小・中学校の交流やホームステイ交流を提案する。

答 (教育長) 本年度、小学校と淡水区の児童が地域の文化や伝統を紹介し合うオンライン交流を計画している。ホームステイについては、派遣体制や費用、保護者負担などの課題があり、今後の検討課題とする。

問 費用負担の大きい派遣を急がず、まずは台湾の子どもたちを受け入れるホームステイから始めてはどうか。受け入れ可能な家庭の意向調査を行い、確保できれば先行して実施する考えは。

答 (教育長) 竹人形劇の公演は海外引率などの課題がある。今後は、実施可能な文化交流のあり方を検討していく。



竹人形文楽についてのふるさと学習の様子

答 (社会教育課長) 既存のホームステイ事業でも受け入れ先の確保に苦慮している。既存事業との調整や受け入れ体制などの課題を整理し、意向調査の実施も含め、引き続き検討していく。

問 文化での交流として、小学生による竹人形劇活動を支援し、淡水区の一滴水記念館での講演を提案する。

答 (教育長) 竹人形劇の公演は海外引率などの課題がある。今後は、実施可能な文化交流のあり方を検討していく。



動画はこちら

乾式貯蔵施設の了解判断は

町長

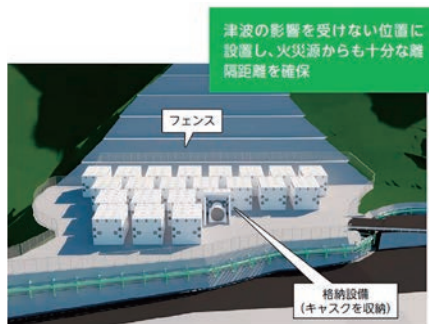
審査終了後、安全性の確認を含め
総合的に判断する



おだに かずえ
尾谷 和枝

使用済み核燃料乾
式貯蔵施設の設
置、事前了解における町
の判断は。

乾式貯蔵施設のイメージ図



〔町長〕 大飯発電
所の審査が終了の
際に、個別具体的な安全
性の確認をはじめ、町議
会の意見を聴くなど、総
合的に勘案し判断したい。

人口減少時代に
おける持続可能な
定住戦略

〔町長〕 町内企業に勤務し
ながら町外に居住
している方の実態や町内
に居住しない要因の分析
は。

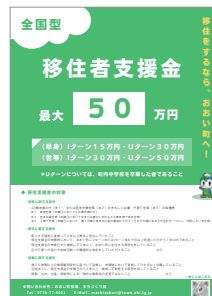
〔町長〕 町内の事
業所で働く15歳以
上の就業者のうち、約48
パーセントの方が町外に
居住されており、主な居
住地は、隣接する近隣自
治体が多くを占めている。
また、町内に居住しない
要因には、個々のライフ
スタイルに合わせたさま
ざまな要因が絡んでいる
と思われる。

〔町長〕 若者や子育て世帯
の定住を進めるた
めには、不足要因を把握
し、暮らし続けるための
定住戦略を一体的に進め
る必要がある。

〔副町長〕 雇用、
住宅、交通を個々
の施策として進めるだけ
でなく、子育て支援や教
育などが一体となった定
住施策と捉え、若者や子
育て世代が住み続けたい
と思える環境を整えてい
くとともに、町内外に向

〔町長〕 佐分利地区をはじ
め地域によって異
なる宅地不足や、需要と
供給のミスマッチなどの
住宅事情について、農地
を守りつつ住宅に転換す
べき場所など、町が基本

けた効果的な情報発信が
定住促進に繋がると考え
る。



〔町長〕 町の支援や施策は
充実しているが、
受け手側に必要な情報が
届き、人口減少対策や定
住に繋がっているか。

〔まちづくり課長〕
ホームページの移
住定住情報発信の充実
や、活用可能な支援制度
や支援額が確認できる
シュミレーションサイトの
構築を進める。

〔町長〕 佐分利地区をはじ
め地域によって異
なる宅地不足や、需要と
供給のミスマッチなどの
住宅事情について、農地
を守りつつ住宅に転換す
べき場所など、町が基本

方針を策定すれば、「優
良田園住宅制度※」を活
用し、戦略的に地域の実
情に応じた住宅施策が可
能ではないか。

※自然豊かな地域での戸建て
建設を促進する制度

〔町長〕 「優良田園
住宅制度」が活用
できるかについては詳細
にリサーチし、制度に合
致できるものが可能か検
討しなければならぬ。

住宅施策については、そ
れぞれの地域の人口動態
や住宅需要、地域コミュ
ニティの維持などを総合
的に捉えながら、佐分利
地区の今後の住宅施策の
取り組みを進めたい。



石山地区宅地分譲

〔町長〕 町としての中長期
的な定住戦略や成
果の検証は。

〔町長〕 「第3次お
おい町未来創生戦
略」の各個別事業に設定
された達成状況につい
て、外部有識者会議にお
ける評価と結果の公表を
踏まえ、各事業担当課が
創意工夫、鋭意努力をし
ながら、移住・定住促
進、ひいては人口減少抑
制に繋げたい。

また、これまでの原子
力政策を基軸に、都市
に「送る」ことで活性化
に繋げてきたまちづくり
から、人やモノ・技術を
集める政策への「パラダ
イムチェンジ」を目指し、
町民の幸福度、満足度の
向上と町の繁栄に向けた
新たなチャレンジに取り
組んでいく。

特集

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡



動画はこちら

キャスクと建屋の安全性は

町長

原子力規制委員会の審査や判断に基づき安全性が確保されているものと認識している



さるはし 猿橋 たくみ 巧

式貯蔵施設設置の同意判断についての見解は。

問

(町長) 再処理工場での確認運転が

終わっていないことをもって、歴代規制委員長などの運用実績を鑑みて同意の判断には当たらない。

問

乾式貯蔵施設のキャスクと建屋に

見解は。

答

(町長) キャスク自体で使用済燃料の

安全機能を維持することが基本であり、原子力規制委員会は、格納設備が地震などで損傷した場合でも、その影響でキャスクの安全機能を損なわない設計であると認識している。

問

再処理工場でのガラス固化製造試験

を終えていない中での乾

乾式貯蔵施設のキャスク

キャスクの寸法* 外径：約2.4m 全長：約5.2m ※美浜発電所の場合

教育行政の充実策は

問

不登校児童・生徒に対する塾通いなどの学習支援の考えは。

答

(教育長) 家庭訪問や保護者との継続的な連絡、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーとの連携など、

個々の状況に応じた支援は行っているが、学習塾などに通うための費用については独自の支援制度は設けていない。

問

県立の夜間高校は一校しかないが、

嶺南地区にも必要ではないか。

答

(教育長) 本町の中学校における進

路選択の状況から、夜間に学ぶ定時制課程への進学を希望する生徒は見られず、中学校からも設置についての意見や要望は出ていない。現時点においては、設置を働きかけることは考えていない。

問

小・中学生の修学旅行への保護者負担軽減を図るべきでは。

答

(教育長) 修学旅行費の補助として、昨年度までは、小・中学生1人につきそれぞれ2千円、4千円を補助していたが、近年の物価

上昇を踏まえて、今年度から補助額を見直し、小・中学生1人につき、それぞれ3千円、6千円に増額した。

問

再エネ対策は

答

本町の再生可能エネルギーによる電力利用の対策は。

答

(まちづくり課長) 太陽光発電・蓄電池設備・小水力発電の支援制度を設けている。住宅への太陽光発電設備の補助実績は令和7年度1件、本年度は現時点で0件となっている。小水力発電設備については、名

田庄納田終地区の1件のみとなっている。

納田終小水力発電設備

問

データセンター誘致に対する町の考えは。

答

(町長) 電力や通信などに大量の電力供給を必要とする。環境面への影響として、水を使用して冷却する施設では、水資源の影響を確

認する必要がある。雇用の面から地域経済への効

果が期待できない。

検潮所の設置は

問

本町に検潮所を設置してはどうか。

答

(防災安全課長) 敦賀や舞鶴に設置されている国の検潮所などによる実測データや本町周辺の天文潮位の予測情報、防災監視カメラの映像などをもとに、防災

気象情報と照らし合わせて沿岸部の状況を速やかに伝達することが、より効果的な防災対策に繋がることから検潮所の設置は考えていない。

問

本郷地区の岡田川や副ヶ裏川の浸水対策は。

答

(建設課長) 近年、車両が通行できないような道路冠水や家屋の床上、床下浸水といった浸水被害は確認されておらず、現段階では、施設整備などの計画はない。

No.83

おおい町議会だより

18

特集

審議内容

活動報告

代表質問

一般質問

追跡

追跡!

一般質問の
行方

あれから どうなったの?

議会だよりでは、定例会議での一般質問の要旨を掲載しています。議員からの提案などがどのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。



低地の冠水対策が必要

本郷区内の低地では度々冠水被害が発生している。主要道路の分断を防ぐ必要がある。
(R4年9月 尾谷和枝議員)



建設課長答弁

西街道の本郷地区周辺の冠水対策を計画している

西街道の本郷地区周辺を、豪雨時の冠水対策として排水機能の拡大とかさ上げ改良工事を計画している。



どうなった?

令和8年から10年にかけて改良工事を実施する

本郷小学校・関電社宅付近の道路のかさ上げ工事を2年かけて改良工事を行う。



冠水の状況

重 要 事 項

令和8年から10年にかけて改良工事が行われます。本郷小学校と関電社宅間の道路では、道路全体の改良工事となりますので、

車両の通行ができません。

車両通行止期間:自 令和8年10月13日
至 令和10年3月24日(予定)

※子どもたちの通学については警備員を配置するなど安全体制を整えて通学路として機能させると説明を受けています。

工事概要

工事金額:2億2,858万8,358円

施工業者:株式会社 山本組

工事期間:自 令和8年9月19日
至 令和10年3月24日
※通行止め期間は異なります。

工事内容:かさ上げ最大高約70cm
道路かさ上げ延長 341.2m
排水路新設・拡大 253.2m

この工事が完成すれば、当該箇所の冠水被害は緩和されます。

近隣にお住いの皆さまや頻繁に道路を使用される皆さまには、大変ご不便をおかけすることになりますが、重要なインフラ整備に深いご理解をお願いいたします。

輝く 児童たち

佐分利小学校の 児童たち

少子高齢化が進む中、児童数が減少していますが、各小学校は地域コミュニティの中心に位置し、守る必要があります。

今号は佐分利小学校を紹介します。

佐分利小学校の紹介

Q 学校の教育目標を教えてください。

A 「自分らしく 伸びあう さぶりっ子」です。

Q この目標を設定された理由は何ですか？

A 多様な価値観とグローバル化が進む社会の中で、自他の「自分らしさ」を尊重し、多様性を認め合い、伸び合うことが重要と考えて、学校教育目標を設定しました。

Q 特に独自に力を入れていることはありますか？



・地元の石山城跡を見学

A 小規模校の良さを生かし、学年の枠を超えた音読発表会や探究学習の発表などを行い、異学年交流に取り組んでいます。

自分らしさアンケートを学期ごとに行い、自分軸を大切にしながら、切磋琢磨できる集団づくりをしています。

自分らしさアンケートを学期ごとに行い、自分軸を大切にしながら、切磋琢磨できる集団づくりをしています。



雨にも負けず立派な自然薯を収穫できたぞ～お～！

・ふるさと学習の様子

みんなて「自然薯づくし」の弁当をつくってみました
おいしくできたよ



・学年の枠をこえた発表会



昔は田植えも大変だったけど、いろいろ工夫していてすごいなあ



・力を合わせてパワー全開さぶりっ子！



佐分利川もいろんな生き物がいるなあ川はいつまでも大切にしたいね



・hibi (ひび) でのふるさと学習会



Q おおい町に対するご意見はありますか？

A 少子化により、全校児童数が減ってきています。制度上の制約もあると思いますが、佐分利小学校の良い校風が持続的に生かせるような施策を講じていただくとありがたいです。

取材訪問した時には、あちこちから元気な生徒の声が聞こえました。佐分利小学校の皆さまには議会だより作成のための資料提供や熱心な対応をいただきありがとうございました。次回には本郷小学校にお邪魔いたします。

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会議は12月です。傍聴について詳しくは議会事務局（77-4060）までお問い合わせください。

12月
定例会議の
予定

会 期：12月3日から12月18日まで（16日間）
本会議：12月3日（議案提案理由説明）、12月15日（一般質問）、12月18日（採決）
委員会：予算決算常任委員会（12月3日）
総務・産業建設常任委員会（12月4日）
台湾友好交流促進・原子力発電対策特別委員会（12月8日）

●編集後記●

酷暑の夏も収まり、めっきり秋の気配を感じる季節となりました。九月は「秋雨前線・台風」などによる大雨により、全国各地で水害が発生するなど、近年の気象の変化と災害への備えの重要性を改めて感じており、町においても、日頃から防災・減災への取り組みが欠かせません。

今号では、決算審査の内容を中心に、議会での審議や町政の動きをお伝えいたします。決算審査は、皆さまから納めていただいた大切な税金が、どのように使われ、どのような成果につながったのかを確認し、今後の町政に生かしていく重要な機会です。

秋の夜長、少し時間を作っていただき「議会だより」に目をとめていただくと幸いです。
（寺井 記）

●広報特別委員会

委員長	細川 正博
副委員長	中西 秀和
委員	堤 満也
委員	田中 秀樹
委員	高本 和良
委員	寺井 義孝
書記	山口 将史